

第30条 ボールをバック・コートに返すこと

日本協会規則グループ長 平野彰夫 氏より回答

ケース①

攻撃側のプレイヤーがバック・コートからパスをして、ボールがフロント・コートに触れた後(バック・スピがかかっていた)に、バック・コートにいる攻撃側プレイヤーがキャッチ(触れた)した。

解 説

コントロールされていないボール(パス、ルーズボール)がフロント・コートに触れたとき、ボールはフロント・コートに進められたことになる。よって、8秒の制限は終わり、新たに8秒が数え始められる。※24秒は継続 しかし、フロント・コート内で最後に攻撃側プレイヤーが触れていないので、ボールをバック・コートに返す違反にはならない。

ケース②

センターラインをまたいでいる攻撃側プレイヤーが、センターラインをまたいでいるプレイヤーに直接パス(フロント・コートに弾ませないパス)をしてセンターラインをまたいだままキャッチ(触れた)した。

解 説

ボールはフロント・コートには進められていないので、ボールをバック・コートに返す違反にはならないが、8秒はそのまま数えられる。

ケース③

センターラインをまたいでいる攻撃側プレイヤーが、センターラインをまたいでいるプレイヤーにフロント・コートに弾ませるパスをしてセンターラインをまたいだままキャッチ(触れた)した。

解 説

直接的なパスではなく、フロント・コートに弾ませてパスをした場合は、ボールがフロント・コートに進められたことになるので、8秒の制限は終わり、キャッチした攻撃側プレイヤーは最後にフロント・コートでボールに触れ、同時にバック・コートにも触れているため、ボールをバック・コートに返す違反になる。

ケース④

センターラインをまたいでいる攻撃側プレイヤーが、ボールをフロント・コートに弾ませたパスをして、バック・コートにいる自チームのプレイヤーがキャッチ(触れた)した。

解 説

ボールをフロント・コートに弾ませてパスをした後、フロント・コートでは最後に攻撃側プレイヤーが触れていないので、ボールをバック・コートに返す違反にはならない。また、ボールはフロント・コートに弾ませたパスをした時点でフロント・コートにボールを進めたこととなり、8秒の制限は終わる。よって、8秒は新たに数え始める。